

# 同志社大学

## 2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年 4 月 7 日提出

所 属	職 名	氏 名
心理学部	准教授	田中あゆみ
研 究 題 目	ほめ・叱り行為の効果：行為者の動機づけに及ぼす影響	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2013年度の研究成果として、予備実験の結果を5月にアメリカのワシントンDCにて開催された6th Annual Meeting of the Society for the Study of Motivationにてポスター発表した(Tanaka, A., &amp; Tsuyama, K. The effects of praise on the praiser's intrinsic motivation)。</p> <p>また、ほめ・叱り行為および動機づけ行動全般の機能分析を行うための文献研究を行い、その成果は2014年4月に出版されるテキスト「心理学概論」(ナカニシヤ出版)の第6章 動機づけ に反映されている。</p> <p>なお2013年度は、ほめ・叱りの効果の検討のための質問紙調査を予定していた。大学生およびその保護者を対象とした調査および、京田辺市の個別指導学習塾に協力を依頼しての講師に対する調査である。しかし2013年度は在外研究のため国外に滞在しており、これらの調査の実施が困難であった。ここから2014年度に研究費を繰り越し、2013年度に行う予定であった2つの調査をあらためて実施する予定である。</p>	